



The R&A  
St Andrews, Fife  
Scotland KY16 9JD

Tel: +44 (0) 1334 460000  
Fax: +44 (0) 1334 460152

www.randa.org  
www.opengolf.com

2016年1月11日

クラブ製造業者 宛

## スプリング効果と動的特性

下記の通り規定しているゴルフ規則の付属規則II, 4cの解釈を改訂することを提案した2015年5月8日付の告知文についてさらにお知らせします。

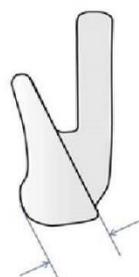
クラブヘッド(クラブフェースを含む)のデザイン、材質そして(あるいは)構造、また処理は:

- (i)ペンデュラムテストプロトコル(R&Aテスト内規)に定められている上限を超えるスプリング効果を持つてはならない。
- (ii)独立したスプリングやスプリング特性(これらに限定されない)などのようなクラブヘッドのスプリング効果に不当に影響を与える意図、あるいは効果を有する機構や技術を組み込んではならない。
- (iii)球の動きに不当に影響を与えてはならない。

この提案についてコメントを寄せる時間を割いていただいた製造業者の方々に感謝し、受け取ったすべての回答を慎重に考慮した結果、2016年3月1日から効力を有して、この改訂された解釈を採用することに決定したことを正式に発表いたします。

改訂された解釈の詳細は下記の通りです。

1. ロフト角35度を超えるクラブは付属規則II, 4cの要件を満たしているとみなされ、テストされることはありません。
2. (パターを除き)ロフト角35度以下と広告で謳われている、マーキングが施されている、あるいは測定され、クラブヘッドの厚みが1.5インチ以下であり、かつ、クラブフェースの曲率半径が30インチを越えるクラブはペンデュラムテスターを用いてインパクトエリア全域にわたりスクリーニングされます。CT値が239マイクロセカンド(+18マイクロセカンドの許容誤差)を越えていることが分かった場合、そうしたクラブは適切な速度(通常133ft/s)でキャノンテストを用いて引き続きテストされることになります。基準プレートよりも0.008を超える測定結果となったクラブは不適合と裁定されます。



クラブヘッドの厚みの測定

3. (パターを除き) 上記 1, 2 でカバーされていないすべての他のクラブは、ペンデュラムテスト<sup>[1]</sup>を用いることでのみスプリング効果の評価が行われます。インパクトエリア<sup>[2]</sup>内の最大特性時間が **239** マイクロセカンド (+18 マイクロセカンドの許容誤差) を越えるクラブは不適合と裁定されます。クラブのインパクトエリア外の最大特性時間が **257** マイクロセカンド (+18 マイクロセカンドの許容誤差) を越えるクラブは不適合と裁定されます。

この改訂された手続きはスプリング効果についての適合性評価基準が透明性を有し、理解可能で、再現可能であることをさらに確固としたものとするに役立ちます。また、製造業者が適合性についての裁定を時宜に即して受け取ることの支援にもなります。既存の裁定がこの提案された評価に基づいて再考されることはありません。

私たちは現在、測定方法の具体的な詳細を確認するためのプロトコル作りに取り組んでおり、それらはいずれ配布されるでしょう。一方で、「スプリング効果」の評価の間に該当するクラブヘッドが通るルートを例証したフローチャートを添付しますのでお役に立つことを期待します。

ご質問がある場合には私までご連絡ください。



**Dr Steve Otto**

Director – Research and Testing

---

<sup>[1]</sup> すべてのテストはクラブフェースをデロフト (de-lofts) した修正ペンデュラム機器を用いて行われます。

<sup>[2]</sup> ドライバー、フェアウェイウッド、ハイブリットクラブのインパクトエリアは、フェース中心を通り 1.68 インチ (42.67 ミリメートル) の幅を有する帯状の部分とみなされます。この測定のために、ソールとクラウンの双方から 0.25 インチ (6.35 ミリメートル) インパクトエリアに入り込んだ部分は除外されます。

